

## 研究対象者の皆様

### 研究課題「30代で病院常勤職を退職した女性医師の退職要因に関する質的研究」へのご参加のお願い

#### 1. この研究の概要

【研究課題】30代で病院常勤職を退職した女性医師の退職要因に関する質的研究  
(審査番号 2025214NI)

#### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育学部門  
東京大学大学院医学系研究科外科学専攻眼科

研究責任者 江頭正人

東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育学部門 教授

担当業務 研究計画、インタビュー調査、質的データ分析、論文執筆

この研究に利用する試料・情報は研究機関の範囲のみで利用されます。

#### 【研究期間】

承認日 ~ 2030年3月31日

#### 【研究目的・意義】

日本の39歳以下の医師における女性割合は33.1%です。また、男性内科医と比較し女性内科医が治療した入院患者死亡率が低いことが報告され、女性医師への需要は質量共に高まっています。しかし、日本の女性医師就業率は30代で低下し医籍登録後11~12年目(38~39歳頃)で最低となります。近年、保育政策の進展により保育園待機児童数は2017年をピークに減少し、35歳~39歳の一般女性就業率は69.8%(2016)から80.1%(2023)に改善しました。しかし同年齢の女性医師就業率は73.4%(2016)から76.0%(2022)で横ばいです。

先行研究で日本の女性医師の退職要因として家事育児との両立困難、流産や早産経験の多さ、ロールモデル不足、性別役割分担などが指摘されました。また海外の女性医師の退職に関する質的研究で、退職要因は相加的で、退職の直接のきっかけは小さく介入可能であるという指摘もあります。

しかし、退職に至る過程において複雑に関与する文化的背景や様々な要因を当事者へのインタビューを通じて明らかにした質的研究は日本で報告はありません。そこで本研究で日本特有の文化的要因、職場要因、家庭要因、個人要因を明らかにすると共に、各要因の関係性に着目し、退職までの過程を多面的に検討します。そして、女性医師の就業継続を阻む構造的要因や現行支援策の限界、支援の空白を明らかにします。今後、若い世代の女性医師の増加が予想される中、本研究は診療科横断的かつ実効性のある女性医師就業継続支援策の検討に資する知見を提供し、病院勤務医の育成における投資対効果の改善や人材流出による医療提供体制への影響の軽減に寄与します。

#### 【研究方法】

・首都圏およびその周辺地域の病院常勤医(週32時間以上勤務)を2020年以降に30代で退職後、現在パートタイマーや無職である女性医師、またはパートタイマーや無職を6か月以上経験し現在は常勤として従事する女性医師(大学院入学者、自己の研究目的の海外留学者を除く)を対象に

インタビュー調査を行います。

- ・インタビュー前に研究目的や内容、参加の自由、個人情報取り扱い等を電子メールまたは郵送にて送付し、対象者が説明文書を確認後、同意を得られた場合のみインタビューを実施します。
- ・先行研究や研究目的に基づき、「退職に至るまでに影響した職場・家庭・個人要因や文化的背景」と「退職前後の感情や葛藤」の2点を中心に構成したインタビューガイドを基にインタビューを行います。
- ・インタビューは、対面またはオンラインで1~2時間申請者が実施します。
- ・インタビューをボイスレコーダーで録音し逐語録を作成します。逐語録をインタビューにご確認いただき、その後に匿名化を実施しデータを解析します。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

## 2. 研究参加の任意性と撤回の自由

この研究にご参加いただくかどうかは、研究対象者の自由意思に委ねられています。

研究の内容について理解いただき、参加いただける場合はインタビュー前に同意書にご署名ください。

もし同意を撤回される場合は、同意撤回書に署名し、文末に記載された連絡先にメールまたは郵送でご提出ください。同意の撤回は、インタビュー後に行うインタビューによる逐語録の確認完了時までに行ってください。

インタビュー後に逐語録をご確認いただいた後、匿名化を行うため、匿名化後に同意を撤回された場合、データの削除が困難です

なお、研究にご参加いただけない場合でも、将来にわたりあなたの不利益につながることはありません。

ご本人からの申し出があれば、可能な限り採取した情報やデータ等および調べた結果を廃棄します。

ただし、同意を撤回されたとき、すでに匿名化されていた場合(インタビュー後に逐語録をご確認いただいてから1週間後以降)は、廃棄することができませんのでご了承ください。

## 3. 個人情報の保護

この研究に関わって取得される情報やデータ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

取得した情報やデータ等は、解析する前にあなたの個人情報とは一切結びつかないようにした上で、研究連絡者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンと外部ハードディスク、鍵のかかるキャビネットで厳重に保管します。そのため、同意を取り消すこと及び個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

## 4. 研究に関する情報の公開及び研究により得られた結果等の取扱い

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表します。

国内外の学術雑誌での公開にあたっては、研究成果の第三者による検証や複数の研究の結果を統合して統計的に検討する際の際の原資料となることもあるために、解析・論文作成に用いた資料を学術雑誌社・学会（誌）へ提供・公開すること、また保管されることがあります。

個人的なお問い合わせをいただいた場合でも、逐語録をご確認から1週間後に匿名化を行うため、個別の研究結果についてはお伝えすることができません。下記のお問い合わせ先に連絡いただければ、全体の研究結果についてはお伝えいたします。

## 5. 研究対象者にもたらされる利益及び不利益

この研究が、あなたに直ちに有益な情報をもたらす可能性は高いとはいえません。しかし、この研究の成果は、今後の女性医師の退職に関する要因の研究の発展に寄与することが期待されます。したがって、将来、対策が適切に行われた場合、あなたに退職する女性医師数の抑制の面で利益をもたらす可能性があると考えられます。

この研究の期間中や終了後に何か気になる症状が現れましたら、どのようなことでも遠慮なく申し出て下さい。研究者は適切に対応するために最善を尽くします。なお治療の際はあなたが加入している健康保険が使用されますので、一部御負担いただくことになります。インタビュー中に体調の変化がみられた場合は、インタビューを中止します。

## 6. 研究終了後の試料・情報等の取扱い方

取得した資料・情報等は、原則としてこの研究のためにのみ使用します。

研究期間終了5年後、取得した資料・情報等は、情報においては紙で保存されている場合はシュレッダー処理、電子データで保存されている場合は専用ソフトでデータの削除することで廃棄します。

これらの資料・情報等は保管期間中に、この研究以外の研究に使用される可能性もあります。その場合には改めて倫理委員会の承認を受け、あなたの同意を得るか、または情報公開により研究対象者となることを拒否する機会を設けます。

もしあなたが同意していただければ、将来の研究のための貴重な資源として、保管期間終了後も引き続き保管します。符号により誰の情報・データ等かが分からないようにした上で、研究責任者または連絡者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンと外部ハードディスク、鍵のかかるキャビネットで厳重に保管します。

なお将来、当該試料や情報・データ等を新たな研究に用いる場合や他の研究機関に提供する場合には改めて倫理委員会の承認を受けた上で行います。

## 7. あなたの費用負担

今回の研究に必要な費用について、あなたに負担を求めることはありませんが、インタビューをWebで行う場合、ネット通信使用料はご負担いただきます。

なお、あなたへの謝金は3000円Amazonギフトカードです。

## 8. 研究から生じる知的財産権の帰属

本研究の結果として知的財産権等が発生する可能性はなく、研究によって得られる経済的利益はないものと考えられます。

## 9. その他

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部の許可を受けて実施するものです。

なお、この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育学部門の運営費交付金と SPRING GX から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

研究の開始後、研究の方法等について変更が行われ、変更の内容によってはあなたが研究への参加を取りやめるという判断をされることも考えられます。本説明資料、同意文書、研究内容の変更に関する情報については、下記連絡先に記載の研究室のホームページ等に情報を公開し、お知らせする場合がございます。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

※この研究説明書および同意書は、大切に保管してください。紛失等により問合せ先が分からなくなった場合は、主治医等にご相談ください。

2025年9月25日

【連絡・お問合せ先】

研究責任者：江頭正人

連絡担当者：坪田裕喜子

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院医学系研究科・医学部 医学教育国際研究センター医学教育学部門

Tel: 03-03-5841-3480 (内線 23480) FAX: 03-5841-0254

e-mail: tsubota-yukiko@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

URL: <https://igaku-kyoiku.m.u-tokyo.ac.jp/>